

# 2022年10月28日 第3405回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 前田 会長
- <斉 唱> 「それこそロータリー」 ソングリーダー 佐久間博一 会員
- <ゲスト紹介> \*郷土史家・横須賀開国史研究会 会長 山本 詔一 様
- <会長報告> \*地区大会長寿会員表彰者へ記念品贈呈  
上林 茂会員・波島顕明会員・徳永良輔会員・福西美子会員・丸山晁巨会員  
\*ガバナー事務所より
- ・新会員親睦会（日帰りバス旅行）with 米山委員会のご案内について  
11月26日(土) 9:30集合  
於：第一相澤ビル8F「会議室」 解散21:00予定
  - ・社会・国際奉仕委員長研修会のご案内について  
12月10日(土) 14:00~16:30  
於：アイクロス湘南カンファレンスルーム6F E号室
  - ・国際ロータリー第2780地区インターアクト国内研修実施要領について  
12月25日(日)~27日(火) 訪問予定地：愛知県今治市 (RI 第2670地区)
- <委員長報告> \*社会奉仕委員会 加藤(淳)委員長よりポリオ根絶募金活動 報告
- <幹事報告> \*横須賀商工会議所会館外壁改修工事に伴う駐車場スペースの制限について  
\*例会終了後奉仕基金プロジェクト委員会 開催
- <出席報告> \*出席委員会 猿丸委員より10月28日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
115名	106名	72名(8名)	34名	9名	76.42%

## <ニコニコ報告>

- ・三 役 郷土史家/横須賀開国史研究会会長 山本詔一様、本日の卓話楽しみにしております。
- ・比護、福西、梁井、田中、田邊、八巻、江口、南、濱田、上林、猿丸、飯塚、勝間、岡、江沢、小山(巽)、佐久間、齋藤(眞)、鈴木(剛)、三堀、前川、谷 各会員  
郷土史家/横須賀開国史研究会会長山本詔一様、ようこそ横須賀ロータリークラブにお越しくださいました。本日の卓話とても楽しみにしています。宜しくお願いします。
- ・鹿島、小平 両会員 誕生月祝いとして
- ・織茂、福島 両会員 入会月祝いとして
- ・5番テーブル波島マスター、勝見サブマスター 26日の5番テーブルミーティングにご参加いただきありがとうございました。住よしさんにも美味しい料理を提供いただきありがとうございました。
- ・前田会長・瀬戸幹事 10月26日に住よしさんで行われた5番テーブルミーティングに参加し、楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- ・児玉、北村、木村、松本(剛)、浅葉、兼城 各会員 10月26日(水)5番テーブルミーティングを住よしさんで開催しました。美味しい料理とお酒にそれぞれの近況報告、白熱した論議もありとても有意義な時間でした。波島マスター、勝見サブマスター、松本会員お世話になりました。
- ・田村、石田、杉浦、児玉、岡田(巽)、永井、Enora、濱田、徳永、上林、勝間、江沢、前川 各会員  
10月23日晴天の中、ポリオ根絶募金活動を行いました。総勢105名が三浦半島5か所に分かれ精力的にポリオ根絶を訴えました。募金額233,849円と多くの方々のお気持ちをいただきました。  
加藤淳社会奉仕委員長はじめ、ご参加会員の皆様お疲れ様でした！

- ・加藤 倫 社会奉仕委員長 10月23日(日)晴天に恵まれ「ポリオ根絶募金活動」を無事に終了する事ができました。参加頂きました皆様、本当にありがとうございました。次回10,000mプロムナードクリーン作戦もよろしくお願い致します。
- ・大野 健、椿、福 西、Enora、齋藤 倫、齋藤 眞、角 井、兼 城 各会員  
明日より親睦旅行会 in 山形です。観光・紅葉・グルメと盛りだくさんの旅行です。明朝7:55東京駅、山形新幹線乗車車両前に集合です。遅刻するときっと置いて行かれるので今日は深酒せず早く寝て明日に備えましょう。行ってきます♪
- ・長谷川、濱 田 両会員 明日からの親睦旅行会楽しんで！行ってらっしゃーい！！
- ・織 茂 会員 神奈川県大会から全試合を応援に行っていた母校野球部が甲子園出場を確定しました。来年3月が楽しみです。
- ・物 井 会員 TBSドラマ「君の花になる」みなと旅館ロケ、無事に終わりました。翼ちゃんには会えず、私への出演オファーもなかったのが背景で写りそうな洗面台にロータリーカップを置いておきました。放送は感動の最終回、お楽しみに。
- ・齋藤 倫、田 邊 両会員 写真をいただいて
- ・兼 城 SAA 10月からのテーブル分けは「超ベテラン」「中堅」「初心者」の3層に分け、各テーブル均等になるようにしました。コロナ禍が進む間、会員同士の親睦も少なく、特に新会員はRC、横須賀クラブの歴史を知る機会、また奉仕活動の経験も少ないです。再開したTMや例会の場で新会員との交流も活発にさせていただけたらと考えました。12月末までのテーブルとなりますが宜しくお願いします。

<卓 話>

### 「鎌倉殿の13人」

郷土史家・横須賀開国史研究会  
会長 山本 詔 一 様

こんにちは、ご紹介をいただきました山本でございます。

顔見知りの多いクラブで、たくさんの方々のご挨拶ができて、大変嬉しく思っております。濱田会員から鎌倉殿の13人について話してほしいと言われ苦手な分野でしたが勉強してまいりました。

まず、鎌倉殿が誰のこと指しているかは、皆さんお分かりだと思います。三谷幸喜さんの素晴らしい大河ドラマになっております。この源頼朝のことです。なぜ鎌倉殿と呼ばれるかは、幕府を開いたからですが、その5代前、120年前にすでに源氏の勢力は、鎌倉に拠点を設けていました。

源頼義という人が、東北の清原というよろしくない勢力を成敗しようとしたときに拠点を作るのが鎌倉で八幡宮が残っています。由比ヶ浜に近いところですが、大変立派な林が残っておりますので、鎌倉に行かれたらまず八幡宮へ行かれるのが良いと思います。その後、源義家が源氏を大きくする大きな役割をしました。義家が立ち上がったころ、頼朝は伊豆に流されておりました。頼朝はお父さんの妻と平清盛の奥さんに救わ



れました。当時頼朝は12歳。お父さんが平清盛に逆らって殺されてしまい、その一族は通常皆殺しにされるどころ清盛の奥さんが助けてあげてと言いまして、それから義家の奥さん常盤御前といいますが、大変美人なかとで、英雄色を好むなんでしょうか、清盛はどうしても常盤御前が欲しかった。そうしたら3人の子供を助けてくれるなら、私はあなたのところへ行きますって言われて、鼻の下を長くしてしまいました。

それで生き残ったのですが、京の都に置いておけないので伊豆ということになりましたが、その見張り役になったのが北条時政という人だったわけです。それから戦いに出る時は33歳。この20年間何をしていたのかというと、周りの女の子集めて都の話をしていました。元々、そういうのが大好きだったみたいで、何人もの女性が体を許したようで、その中の1人が伊東祐親の娘。これも子供ができちゃいました。もうその時には時政さんの娘政子さんとの婚姻が決まっていたのに、こっちに手をつけちゃった。もう伊東祐親は怒りましたが北条さんにしてみると、源氏の御曹司ですから何とか守りました。

そのあと平清盛は後白河法皇が邪魔だとなって、後白河側は何とか対抗しようとして頼朝立ち上がれとなったわけです。もうひとり立ち上がれと言った人物がいます。この人は北面の武士という人ですけども、ちょっと、人妻との過ちを犯しまして、それで頭丸めてしまいました。人妻との過ちはやっぱり面白いのでしょうか。私はやったこともないので、どのくらい面白いかわからないですけども、その過ちがあって、それで頭を丸めて仏門に入りました。ただそこから、お前がここで立ち上がらないでどうするって言った文覚上人という人がいます。この方は横須賀にも縁がありまして、浦賀に叶神社という神社がありますけど、この叶神社に源氏の世の中ができますようにと願掛けをした。そうしていたら鎌倉殿と呼ばれるような勢力になってきた。自分の大きな願いが叶ったというので、叶神社という。それで、戦いが始まるわけですが、1回戦は石橋山の戦いでこれは負けて房総半島へ逃げました。三浦一族ではおじいさんまで亡くしてしまいました。そのメンバーはみんな房総半島へ集結して、そこには千葉さんという優秀な方がいてあらためてスクラムができて房総半島を北上し、上総の国から下総を通り、武蔵の国に入り、また鎌倉へ来たということです。

頼朝が鎌倉に入った時に1番最初に行ったのはその八幡宮です。本拠地をここに置いて勢力をつけて頑張りますって言った。それが1181年のことです。頼朝は1199年に亡くなっていますが、その18年の間は戦い通しです。このころ平家は残っていましたので、壇之浦の戦いへ出かけていき、これを打ち破ってくる。私たち小学校で「いいくにつくろう鎌倉幕府」1192年って教わったのですが、これは征夷大將軍という官職をもらった時ですけども、実は今は「いい箱の鎌倉幕府」1185年で教えています。この時に守護や地頭というのができて、天皇に制度を許可された。この時期が鎌倉幕府の成立にしているんじゃないかというのが1185年です。この時にできたのが侍所といってこの長官になったのが、和田義盛でした。

このころは誰が母親かというのが非常に重要な役割をしていました。頼朝さんは3番目の男の子なんですけども、母親の力が強かったというのがこの時代大事だったことを覚えておいてくださるといいかなと思います。頼朝さんは残念ながら、馬から落ちて亡くなった。武将にしては恥ずかしい話ですが、この記録何が残っていません。後から作られた話みたいです。吾妻鏡という本があるんですけどもその時には何も残ってないんですね。

その子供は18歳になる頼家ですが、後ろ盾を作ることになりました。提案したのは政子さんで13人のメンバーを選びました。お手元の資料に13人ずつと名前が載っております。大河ドラマの主人公の義時、

父親の時政、弟も入っています。三浦一族もやはり重要な人物です。それから和田義盛、梶原景時ですとか名前が載っていますが、選出したのは、政子さんだった。おふくろさんの力は強かった。

なんでお母さんのことをおふくろさんというか、子宮という人もいますが、財産管理のことです。男が戦いに出ていき、後を任されるのは妻、女房ではありません。女房というのは女性スタッフのことです。妻というのは性的関係のある人。うちの女房という人はお金を払わないといけません。妻だったら愛情があるから許してくれる部分があるのです。この妻が全部袋の中に入れて財産管理をしていた。この人が逆らったら大変で政子さんがそういう力を持っていたというのが、よくお分かりになってくれるかなと思います。

13人選ばれました。大変です。ロータリーも毎週で大変だろうなと思っておりますけども、この時代から武士は貴族化し始めます。平家はだいぶ貴族化していましたが、鎌倉でもやはり見よう見まねで貴族の生活だったわけです。で、その時に集まってきてご飯を食べます。毎日パーティーです。この時代、お酒は自分のグラスがあるわけじゃない。大きな盃で、みんなで回して飲んだんですね。これ何がいいのかっていうと、この中には毒が入ってないよっていうので、同じ味のものをみんな食べる。お酒飲む時に一気に飲むではいけません。たくさん飲みたい人は3回、盃上げたら回すのが作法です。これが駆け付け3杯になるんですよ。ここに料理が用意されています。肴っていうのは、本来は酒に菜っ葉の菜、と書いて酒菜なのです。そのメインが魚だったのです。今サカナって言うのは本来読まないんですね。ウオカギョなのです。日本だけあれもサカナって読む。だからサカナ市場とは言わないでウオ市場って言うのですね。それがテーブルの上に乗っています。頑張っ、今日は5回盃を回すようにしてある。その数を数えたからおかず、御数って書きます。それで最後に出ますご飯、これが山盛りのご飯です。大きな飯を振る舞うから、大盤振る舞いって言葉が生まれたのです。

13人が選ばれば、仲間13人のうちの7人、8人は俺のパーティーに来たぞ、呼ばれなかったぞとなります。吾妻鏡という本を読みますと、今日は誰々のパーティーがあるということが書かれています。それは大変な修行です。

こんなことがありながら、この13人でやるのですけども頼家さんはやはり若かったダメだということになってきます。しかしこの頼家さんをかばっていた人がいます。頼家さんの奥さん、これ比企一族からお嫁に行っています。大変な美人だったそうです。比企一族からすると、頼朝さんと政子さんが結婚していたから北条の力が強かったのだけど、2代目になったら今度はうちの娘が行ってるんだからとなります。それで戦争になる。

その前に梶原さんというのが1番最初に問題を起こしまして、つぶされたのですが、伊豆にいた時代から色々なことを頼朝さんに教えてきた人だったので、あいつ、うるさいなもう切っちゃおうとなっていました。

北条にとってみると、せっかく政子さんが13人という形をとったのに、それを比企にかき回され、権力が行ってしまうことを恐れたので、比企をやっつけます。こういう中에서도、最後にやられますのが和田義盛です。今度の日曜日の大河ドラマだったと思います。和田義盛は1番の武闘派です。義盛にとってみれば、なんで俺がトップになれないんだっていうようなことを思っていたようです。横須賀の浄楽寺というところにゆかりの仏像が残っています。13人は結局解散していき、残ったのが北条だったわけです。北条の新しい経営理念が成功したということだろうと思います。最後まではいきませんでしたけども、時間が参りましたので、私のお話はここまでです。ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 前田会長

週報担当 児玉信藏